

第128回日商簿記3級 第1問 仕訳問題類題 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現金	預金	受取手形	売掛金	前払金
立替	金	未収入金	仮払金	建物
支払手形		買掛金	未払金	前受金
預り	金	仮受金	貸倒引当金	引出金
売上		受取手数料	受取利息	手形売却損
仕入		水道光熱費	給料	営業費
租税公課		貸倒損失	支払手数料	支払利息

- 前年度に商品を売り上げた際の対価として受け取っていた得意先振出しの約束手形 ¥ 50,000 を銀行で割り引き、割引料 ¥ 1,000 を差し引いた手取金は当座預金とした。
- 得意先が倒産し、前年度の商品売上にかかわる売掛金 ¥ 80,000 が回収できなくなったので、貸倒れの処理を行う。なお、貸倒引当金の残高は ¥ 60,000 である。
- 以前に取引先に注文していた商品 ¥ 100,000 が手元に届いた。なお、同商品の注文に際しては代金の 3 割に相当する額を手付金として現金で支払っており、代金の残額は翌々月末に支払うことになっている。
- 従業員に対する給料 ¥ 150,000 について、所得税の源泉徴収額 ¥ 15,000 と従業員への立替額 ¥ 45,000 を差し引き、残額を当座預金口座から従業員の普通預金口座へ振り替えて支給した。
- 店舗用建物 ¥ 1,000,000 を購入し、仲介業者への手数料 ¥ 10,000 とともに小切手を振り出して支払った。